

兵庫県
保険医協会

加古川 高砂支部 ニュース

No. 205

2009年10月25日

兵庫県保険医協会
加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目二一三一

神戸フコク生命海岸通ビル五階
電話 〇七八―三九三―一八〇一

正確な情報収集と冷静な判断、できる限りの備えが大切

第28回支部総会記念講演「新型インフルエンザ」を開催

加古川・高砂支部は10月10日、加古川プラザホテルで第28回総会を開催。記念講演「新型インフルエンザ第2波流行に備えて」を開催し、医師、歯科医師、看護師、スタッフら116人が参加した。

総会議事では、08年度活動報告と09年度活動方針が採択され、支部役員改選では岡部桂一郎支部長代理が支部長に就任した。

記念講演では、神戸市医師会理事(公衆衛生担当、新型インフルエンザ対策会議座長) 中神クリニック(神戸市西区)院長の中神一人先生が、「新型インフルエンザ第2波流行に備えて」基礎知識と神戸市での経験・対応策など



講師の中神先生は、神戸初発事例なども紹介しながら解説

と題して講演。中神先生は、新型インフルエンザウイルスの発生の仕組みや感染経路、他のインフルエンザとの相違点などの基礎知識をはじめ、5月流行時の神戸初発事例や神戸市医師会新型インフルエンザ検証委員会中間報告の内容も紹介しながら、現在のサーベイランス体制やインフルエンザワク

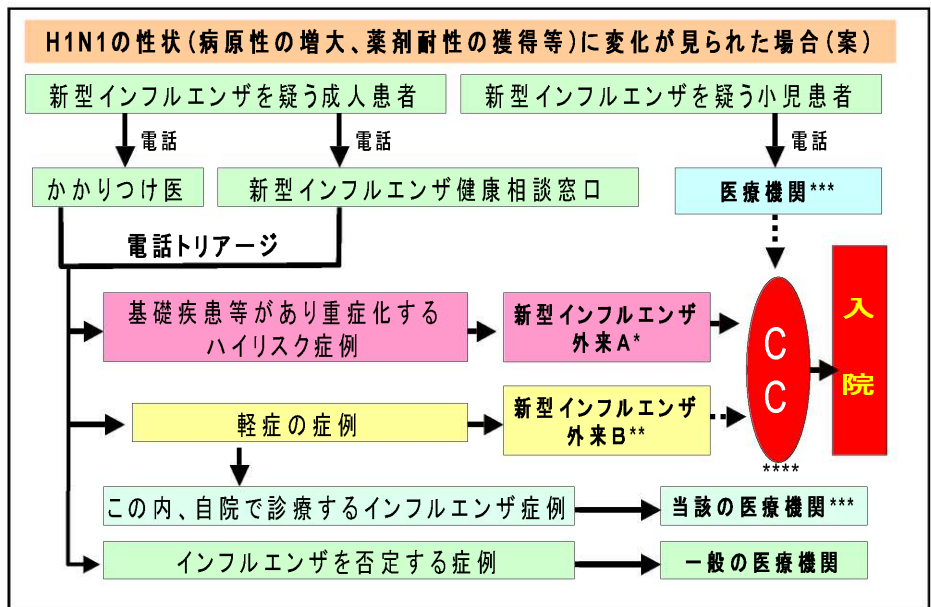
チン供給体制などについて説明。あわせて、手洗い・うがいの敢行、十分な睡眠など日常的な感染予防対策についても言及した。この中で、「新型インフルエンザは豚由来の弱毒性インフルエンザ(H1N1)であるが、秋冬にかけてさらに変異を続け強毒性のウイルスになる可能性がある。正確な情報収集と冷静な判断、できる限りの備えを怠らないことが大切である」と強調した。

会場からは「新型インフルエンザワクチンは2回接種しなければならぬのか」「新型と季節性どちらのワクチンを優先的に接種したほうがよいのか」など質問が出された。

会場からは「新型インフルエンザワクチンは2回接種しなければならぬのか」「新型と季節性どちらのワクチンを優先的に接種したほうがよいのか」など質問が出された。



記念講演には医療関係者ら116人が参加した



H21年9月2日神戸市医師会新型インフルエンザ検証委員会「新型インフルエンザ検証委員会中間報告」資料より

※講師の中神先生より「新型インフルエンザ検証委員会中間報告」をいただきました。ご希望の方は協会事務局までご連絡ください。(電話/078-393-1803) 後日、コピーを送付します。

支部長就任にあたって

加古川・高砂支部 岡部 桂一郎(高砂市)



止、憲法擁護のため闘う所存です。

このたび、支部長を拝命するにあたりまして、ひとことごあいさつ申し上げます。

先生方は日々感じておられますように、医療をめぐる情勢は大変厳しいものがあります。先の総選挙では、社会保障をはじめ国民の

くらしを破壊してきた自民・公明政権が国民の厳しい批判を受けて歴史的な大敗を喫し、民主党を中心とした新政権が誕生しました。民主党はマニフェストで後期高齢者医療制度の廃止、外来管理加算5分ルールの廃止、社会保障費の削減路線の見直しなどを公約していますが、大企業や富裕層への応分の負担を掲げておらず、将来的に消費税増税も視野に入れていま

私たちは、社会保障改善のためにあらゆる努力を尽くすとともに、社会保障優先の政治への転換を強く求めて「医療構造改悪」阻

さて、加古川・高砂支部では、医院経営懇談会をはじめ、職員接遇研修会、医療安全管理対策研究会など会員の要求に沿った企画を行ってまいりました。また、先日の支部総会では、記念講演に「新型インフルエンザ第2波流行に備えて」を企画し、116名のご参加をいただくことができました。いずれも先生方のご協力なくしてはできないことで、今後も引き続きご協力をお願いします。

最後に、支部活動は会員さんであれば、いつでもだれでも気軽に参加いただけます。いろいろなアイデアや知恵をお貸し下さいますようお願いして、私のごあいさつとさせていただきます。

2008年度 支部活動報告(概要)

- 昨年の支部総会はマイケル・ムーア監督「シッコ」上映会を行い74人が参加。役員改選では、橋本能直支部長が再選されたが、5月5日に逝去されたため、岡部桂一郎副支部長が支部長に就任。
- 新年会をかねた会員懇談会は「税務調査への対応」をテーマに7人が参加。
- 会員懇談会は「患者満足度を向上させる増患対策～職員のやる気を引き出し流行る医療機関に」をテーマに11人が参加。
- 接遇研修会「患者さんの接遇心得とクレーム対応」を開催、40人が参加。
- 定例開催のメディカルイングリッシュは、講師の日程の都合により今年度は開催できなかったが、引き続き開催していく。
- 加印社会保障推進協議会は、後期高齢者医療制度廃止を求める宣伝・署名行動、加古川市の国保料の引き下げを求める署名にも取り組んだ。加印社保協第9回総会にて、橋本能直先生に代わり、岡部桂一郎先生が会長に就任。
- 支部活動の基本である幹事会の定例開催と支部ニュースの発行を行った。

2009年度 支部活動方針(概要)

- 会員の要望をもとに、学術研究会や会員懇談会などを積極的に行う。また、在宅医療への取り組みや、医科歯科共通の研究会などの開催をめざす。
- 2010年4月の診療報酬改定に向けて、支部でも改定研究会を開催する。
- 保険請求や査定減点に関する情報交流、医院経営問題など、協会ならではの活動にいっそう力を注ぐ。
- 従業員研修など「患者接遇」に関する研究会や講習会、院内感染対策に関する研修会など、スタッフも含めた企画を開催する。
- 「他科を知る会」や「新規開業医との懇談」などを企画し、医療問題の学習や、会員相互の意見交流と親睦をはかる。
- 加印社会保障推進協議会の活動に参加・協力する。また、「健康と医療について語り合う会」などを通じ、他団体との交流を強める。
- 日常診療に役立つ情報、地域の情報提供、会員相互のコミュニケーションを培う支部ニュース作りをめざす。
- 支部活動の基礎となる幹事会の充実のため、出席者の確保をふくめ改善をめざす。そのために会員の積極的な参加を促す。